



パートナーの
みなさまとともに



主力事業 青果流通・CE事業

○本社所在地：長野県長野市
○事業概要：青果の卸売・小売、店舗・催事、EC、輸出入、食品加工、CE事業（サーキュラーエコノミー：未利用食品資源の飼料化）

○常時使用する従業員：92名
（2025年11月時点）

○現在の売上高：11億円
（2025年11月期）

○法人番号：6100001025195

○Web：https://ohsawaya.co.jp

株式会社 大澤屋（卸売・小売業）

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
坂口 政廣

地域の「もったいない」を、農業とAIの成長力に変える

大澤屋は青果の卸売・小売で築いた産地・販売網を土台に、規格外農産物や未利用食品資源へ新たな価値を加えてきました。その成果として、『2023年 信州大学100年企業創出プログラム』、『2024年-2025年 長野県産業振興機構ゼロカーボン』、『2026年 長野県次世代成長産業技術開発等支援事業』に採択されました。今後は、国内外の販売網、サーキュラーエコノミー飼料、AIデータセンターを三本柱として、農業・デジタル産業をつなぐ地域循環事業へ成長します。地域の雇用と農家所得を高め、2036年に売上高100億円達成を目指します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

「2036年に目標を達成する」



課題

- ・店舗、卸売、EC、海外展開を同時に伸ばせる標準的な運営体制の整備
- ・未利用食品資源の安定調達、乾燥品質管理、量産設備の確立
- ・DC（AIデータセンター）に必要な電力・通信設備と資金の確保
- ・複数事業を管理する経営人材、技術人材、財務人材の採用・育成

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・青果卸・小売、やおりん、催事、ECの標準化と国内外への展開
- ・CE事業展開として、未利用食品資源を活用した高付加価値飼料の量産・販売と環境価値の事業化
- ・AIデータセンターを段階整備し、AI計算サービスと排熱利用を展開
- ・成長を加速するM&A、業務提携、海外販売網の活用

実施体制

- ・代表直轄の成長戦略室を設置し、既存事業、新規事業、財務を一体管理
- ・大学、技術企業、金融機関、自治体との外部連携を強化
- ・飼料製造、AI基盤、財務、海外事業の専門人材を段階的に配置
- ・売上、投資、雇用、環境効果をAIでREAL TIMEで管理・運営

※本宣言は企業自身がその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

100億企業への重要成功要因

SDGs採択実績とCE（地域循環）の強みを、五つの成長ステップにつなぐ



事業化ロードマップ（将来計画）



三つの成長エンジン

食品流通

アップサイクル飼料

データセンター

売上目標

2036年 116億円

↓
2037年 140億円

※協業・IPO等は現時点の将来計画であり、関係先との合意・審査・市場環境等により変更し得ます